

製品安全データシート

作成：1999年06月30日

改訂：2014年02月10日

1. 化学物質等及び会社情報

製品名	パッシュ
会社名	シスメックス株式会社
所在地	〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号
連絡先	シスメックス株式会社 テクノパーク 〒651-2271 神戸市西区高塚台4丁目4番地の4 TEL：(078) 991-1911 (代表) FAX：(078) 992-7330

2. 危険有害性の要約

GHS 分類の記載

物理化学的危険性	該当しない
健康に関する有害性	
急性毒性（経口）	区分外
急性毒性（吸引）	区分5
皮膚腐食性/刺激性	区分2
目に対する重篤な損傷・刺激性	区分1
生殖毒性	区分2
特定標的臓器・全身毒性(単回)	区分1（呼吸器・中枢神経系）
特定標的臓器・全身毒性(反復)	区分1（肺）、区分2（血液）
環境に対する有害性	
水生環境急性有害性	区分3

GHS ラベル要素

GHS 絵表示



喚起語

危険

危険有害性情報

吸入すると有害のおそれ（蒸気）
皮膚刺激
重篤な眼の損傷
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
呼吸器、中枢神経系の障害
長期または反復暴露による肺の障害
長期または反復暴露による血液の障害のおそれ
水生生物に有害

注意書き

安全対策

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
呼吸用保護具、保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

緊急措置	<p>吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>眼に入った場合：水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。</p> <p>皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。</p> <p>皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。</p> <p>汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。</p> <p>ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>眼に入った場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。</p>
保管	直射日光を避け、容器を密閉して換気の良い冷暗所に施錠して保管すること。
廃棄	内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
GHS 分類に該当しない危険有害性	なし

3. 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分	混合物
化学的特性に関する情報	水溶液
危険有害成分	
化学名又は一般名 濃度（範囲）	過酸化水素（約 3%）
化学式	H ₂ O ₂
CAS 番号	7722-84-1
労働安全衛生法政令番号	第 126 号
PRTR 法政令番号	情報なし

4. 応急措置

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合	気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。直ちに皮膚、毛髪を水又はシャワーで洗うこと。脱いだ衣類を再使用する前に洗濯し汚染除去すること。気分が悪い時は、医師を呼ぶこと。
目に入った場合	身体に異常がある時は、医師の診断、手当てを受けること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。眼刺激がある場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲込んだ場合	直ちに医師の診断、手当てをを呼ぶこと。口をすすぐこと。体内の濃度を薄めるため、多量の水を飲ませる。
応急措置をする者の保護	特段必要ない。

5. 火災時の措置

消火剤	水
つかってはならない消火剤	粉末消火剤、泡消火薬剤

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。関係者以外の立入りを禁止する。作業者は適切な保護具を着用し、眼皮膚への
----------------------	--

環境に対する注意事項 封込め及び浄化の方法・機材	接触やガスの吸入を避ける。適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。風上に留まる。低地から離れる。密閉された場所に立入る前に換気する。河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。 情報なし
-----------------------------	---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱	
技術的対策	ミスト、蒸気、ガスの発生を防止する。
安全取扱い注意事項	接触、吸入又は飲み込まないこと。
保管	
適切な保管条件	冷所(2～8℃)に密栓して保管する。
容器包装材料	情報なし

8. 曝露防止及び保護措置

管理濃度	情報なし
許容濃度	
日本産業衛生学会 A C G I H	設定されていない。 TLV-TWA 1ppm (H ₂ O ₂)
設備対策	
保護具	特に必要ない
呼吸の保護具	呼吸器保護具 (保護マスク)
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣など

9. 物理的及び化学的性質

物理的性状、形状、色など	無色の液体
臭い	ない
pH	弱酸性
引火点	データなし
比重 (相対密度)	データなし
溶解度	水に可溶

10. 安定性及び反応性

安定性	通常の手扱いで安定。試薬としての安定性は添付文書をお読みください。
危険有害反応可能性	可燃性又は還元性物質と混触すると反応することがある。
避けるべき条件	熱、日光
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	加熱により酸素ガスが発生することがある。

11. 有害性情報

急性毒性	(H ₂ O ₂ 純品として、以下同じ) ラット蒸気吸引 LC ₅₀ =1438ppm (EU-PAR 2003)
皮膚腐食性／刺激性	ウサギに対して 3 分間、1 時間または 4 時間の適用で、皮膚の全層におよぶ壊死あるいは腐食性 (EU-RAR 2003)、ECETOC Special Report 10 (1996))
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性	動物でシビアな刺激性を有しCorrosiveとの記載 (ECETOC JACC 1993, EU-RAR 2003)
呼吸器感作性又は皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発癌性	情報なし

生殖毒性	in vitro実験でヒト精子への影響が見られた、動物試験において親動物の一般毒性に関する記述はいが、精子運動能への影響、雌の発情周期への影響、出産母獣の減少、および出生児の体重減少が見られたECETOC JACC (1993)
特定標的臓器毒性 (単回曝露)	動物 (EU-RAR 2003) およびヒト (ACGIH 2001) において鼻、喉、気管への刺激性。動物ではいずれも区分1のガイダンス値の範囲内の用量で肺および気管のうっ血、肺水腫、肺気腫、気管上皮の壊死 (EU-RAR 2003, ECETOC Special Report 1996)
特定標的臓器毒性 (反復曝露)	イヌにおける蒸気の吸入試験 (EU-RAR 2003) で、区分1のガイダンス値範囲内の用量で肺に線維組織巣が散見され、無気肺領域と気腫領域の混在を認め、ヒトにおいても肺に刺激性を有するとの記載 (ECETOC JACC 1993)、ラット経口投与で区分2のガイダンス値範囲の用量で、白血球数、ヘマトクリット値に影響、溶血を認めた (EU-RAR 2003)
吸引性呼吸器有害性	情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	ミジンコ 48時間 EC ₅₀ 2.4mg/L (EU-RAR 2003)
残留性/分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壤中の移動性	情報なし
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物 汚染容器及び包装	本品単体の場合、大量の水と共に流してください。 行政の許可を受けた廃棄物処理業者に委託するか、廃棄物処理法に従って適切に処理してください。
14. 輸送上の注意	
国際規則	
国際航空機輸送協会危険物規則	輸送危険物に該当しない (H ₂ O ₂ 8%未満)
国際海上危険物規則	輸送危険物に該当しない
国内規制	
陸上「鉄道/道路」	輸送危険物に該当しない
内陸水路	輸送危険物に該当しない
輸送の特定の安全対策及び条件	容器、包装に漏れのないことを確認し、転倒、落下損傷のないように積載し、荷崩れの防止を確実に。日光に当てない。
15. 適用法令	
適用される法規制	労働安全衛生法：名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条）、名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2別表第9第126号）
16. その他の情報	
一般的注意	ここに記載された情報は、シスメックス株式会社の最善の見地に基づくものですが、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。
略記	PRTR法：特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律